

● 高等学校日语教材

日本地理

● 屈亚娟 主编

大连理工大学出版社



高等学校日语教材

H369.4

106

2007

日 本 地 理

主编 屈亚娟

大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本地理 / 屈亚娟主编. —大连:大连理工大学出版社, 2007. 1

高等学校日语教材

ISBN 978-7-5611-3442-9

I. 日… II. 屈… III. ①日语—高等学校—教材
②地理—概况—日本 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 162521 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84703636 传真:0411-84701466

E-mail: dulp@ dulp. cn URL: <http://www. dulp. cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm × 203mm 印张:9.75 字数:242 千字

印数:1 ~ 4000

2007 年 1 月第 1 版

2007 年 1 月第 1 次印刷

责任编辑:宋锦绣

责任校对:戴 剑 张 凡

封面设计:孙宝福

定 价:18.00 元

前 言

作为一位大学日语教师,在为学生语言学习取得进步感到欣慰的同时,我也对部分学生的知识结构感到些许遗憾。经过师生的共同努力,我们能够将零起点的学生带人流利使用日语的殿堂,但由于学生把大部分时间都用于对语言本身的学习,所以当论及日本的历史、地理、文化等知识时,情况就不太乐观。学习语言的最终目的在于运用,无论日语专业的学生毕业后从事何种与日语有关的工作,如果我们能在对日本地理等国情有所了解的基础上进行交流,必然会锦上添花。鉴于此,本人不揣浅陋,编写《日本地理》一书,以期能对日本国情的研究,尤其是日本地理的研究尽绵薄之力。

《日本地理》一书适合大学日语专业二年级以上的学生和同等程度的日语爱好者使用,在编写过程中力求做到知识性和趣味性兼备,使读者能够准确、全面地了解日本地理的有关知识。

本书分为三大部分。第一部分对日本的位置、面积、地域划分、地形、气候、自然灾害和日本文化、民众生活等情况进行介绍;第二部分对日本的人口、各种产业、资源、公害、贸易等情况进行介绍;第三部分对日本的各个行政区划,即1都、1道、2府、43县的情况进行详细介绍。

本书的第三部分尤其值得关注,目前出版的日本地理方面的

书籍大多从“九州地方”、“关东地方”等日本的各个“地方”的角度进行介绍,一般不具体涉及各个行政区域,而本书不仅介绍了各个“地方”的知识,还对各个行政区域的地理、历史、产业、风土人情等知识也进行了介绍,使读者可以充分了解到日本各个行政区域的不同特点。

在编写《日本地理》一书的近千个日日夜夜里,艰辛和努力一直伴随着,哪怕是一个小小的细节,我也再三推敲,力求精益求精。尽管如此,学识所限,疏漏之处在所难免,衷心希望各位专家、同仁和读者朋友不吝赐教。

编 者

目 次

第 I 編 日本の国土のありさま

第一章 日本の位置と面積

一、日本の位置	2
二、日本の面積	3
〈発展①〉 日本列島の形	4
〈発展②〉 日本の国土面積は小さくない	5

第二章 日本の各地域と都道府県

一、地方の区分	6
二、都道府県の区分	7
三、いろいろな地域区分	10
〈発展①〉 関東と関西の境界	12
〈発展②〉 関西	13

第三章 日本の地形

一、山地	14
二、二つの火山帯	17
三、平地	19
四、河川	21
五、湖	23
六、海岸とまわりの海	25
〈発展①〉 富士山	27
〈発展②〉 竹取物語	28

第四章 日本の気候

一、気候の特徴	30
二、四季の移り変わり	33
三、土地によって違う気候	37
〈発展①〉 梅雨の原因	39
〈発展②〉 台風の強さと大きさ	40

第五章 自然の災害

一、いろいろな災害	41
二、気候と自然災害	42
三、地形と災害	43

第六章 日本人の文化

一、多様な文化	47
二、日本人の宗教	48
三、日本の祭りと年中行事	48

第七章 日本人の暮らし

一、変わりつつある暮らし	51
二、日本人の衣服	52
三、日本人の食事	52
四、日本人の住居	53

第Ⅱ篇 人口の集中と経済の発展

第一章 人口から見た日本

一、総人口と人口密度	56
二、人口の変化と分布	57
三、人口が増えすぎる都市	59
四、人口が減りすぎる農村	60
〈発展〉 都心部の人口が減少しているわけ	61

第二章 農牧業から見た日本

一、農業経営の特色	62
二、農牧産物の動向	63
三、地域の特徴	64
〈発展〉 日本の農政	66

第三章 日本の資源

一、地下資源	68
二、エネルギー資源	68
三、水産業	70
四、日本の林業	72
〈発展①〉 日本の原子力発電所の運転方法	73
〈発展②〉 国有林	74

第四章 工業から見た日本

一、工業生産のあゆみ	76
二、工業の特色	77
三、工業地域	78
〈発展〉 工業の種類	81

第五章 公害から見た日本

一、公害の発生	82
二、公害の対策	85
〈発展〉 ナショナルトラスト運動の先駆け——天神崎	87

第六章 貿易から見た日本

一、貿易の移り変わり	88
二、貿易の特色と課題	88
三、主な貿易品目と貿易相手国	90
〈発展①〉 国際社会に生きる日本人	92
〈発展②〉 大阪の朝鮮市場の由来	93

第Ⅲ編 都道府県のようす

第一章 九州地方の各県

一、福岡県	96
1. 地理	96
2. 歴史と文化	98
3. 昔話——白水つつみのカッパ	99
〈発展①〉 築紫平野の農業	100
〈発展②〉 北九州の工業	101
〈発展③〉 九州地方	102
二、長崎県	107
1. 地理	107
2. 歴史と文化	109
三、佐賀県	109
1. 地理	109
2. 歴史と文化	110
〈発展〉 伝統産業が発達したわけ	110
四、熊本県	111
1. 地理	111
2. 歴史と文化	112
3. 水俣病	113
五、大分県	114
1. 地理	114
2. 歴史と文化	115
〈発展〉 九州地方のIC 工場	116
六、宮崎県	116
1. 地理	116
2. 歴史と文化	117

〈発展〉 シラス台地	118
七、鹿児島県	119
1. 地理	119
2. 歴史と文化	119
3. 火山と人々の暮らし	120
4. 屋久島	121
〈発展〉 農家の黒豚づくり	121
八、沖縄県	122
1. 地理	122
2. 歴史と文化	123
〈発展①〉 沖縄県はなぜ長寿地域なのか	124
〈発展②〉 九州地方のまとめ	125
第二章 中国・四国地方の各県	
一、広島県	128
1. 地理	128
2. 歴史と文化	129
〈発展①〉 単身赴任	129
〈発展②〉 瀬戸内工業地域	130
〈発展③〉 中国・四国地方	132
二、岡山県	136
1. 地理	136
2. 歴史と文化	137
〈発展①〉 瀬戸内海の汚染	138
〈発展②〉 中国山地の牧畜	138
三、山口県	139
1. 地理	139
2. 歴史と文化	139
〈発展〉 三つの地域	140

四、香川県	140
1. 地理	140
2. 歴史と文化	141
3. 讃岐平野の農業	142
〈発展①〉 瀬戸大橋	142
〈発展②〉 瀬戸内の水産業	144
五、愛媛県	144
1. 地理	144
2. 歴史と文化	145
〈発展①〉 瀬戸内の果物	146
〈発展②〉 みかんづくりの仕事	146
六、鳥取県	147
1. 地理	147
2. 歴史と文化	147
3. 鳥取砂丘	148
〈発展①〉 鳥取砂丘の生い立ち	149
〈発展②〉 山陰地方の農業	150
七、島根県	151
1. 地理	151
2. 歴史と文化	151
〈発展①〉 神話——国譲り	152
〈発展②〉 中国山地の暮らし	152
八、高知県	153
1. 地理	153
2. 歴史と文化	154
〈発展〉 四万十川がなぜ清流であり続けられるのか	155
九、徳島県	156
1. 地理	156

2. 歴史と文化	157
〈発展①〉 南四国の農業、水産業と林業	157
〈発展②〉 中国・四国地方のまとめ	159

第三章 近畿地方の各府県

一、滋賀県	161
1. 地理	161
2. 歴史と文化	162
3. 琵琶湖	162
〈発展〉 近畿地方	164
二、大阪府	169
1. 地理	169
2. 歴史と文化	169
3. 大阪	170
〈発展①〉 私鉄が発達している関西	171
〈発展②〉 中央低地の産業	172
三、京都府	176
1. 地理	176
2. 歴史と文化	176
3. 古都——京都	177
〈発展〉 醍醐寺と二条城	179
四、兵庫県	180
1. 地理	180
2. 歴史と文化	180
3. 神戸港	181
〈発展〉 北部山地の産業	183
五、奈良県	184
1. 地理	184
2. 歴史と文化	184

〈発展〉 奈良町の移り変わり	185
六、和歌山県	186
1. 地理	186
2. 歴史と文化	187
〈発展〉 紀伊山地の林業	187
七、三重県	188
1. 地理	188
2. 歴史と文化	189
〈発展①〉 南部山地の水産業	190
〈発展②〉 近畿地方のまとめ	190

第四章 中部地方の各県

一、愛知県	193
1. 地理	193
2. 歴史と文化	194
〈発展①〉 中京工業地帯	195
〈発展②〉 豊田の産業	196
〈発展③〉 中部地方	197
二、静岡県	200
1. 地理	200
2. 歴史と文化	201
3. 昔話 だいだらぼっち	201
〈発展〉 東海地方の産業	202
三、岐阜県	205
1. 地理	205
2. 歴史と文化	206
四、長野県	207
1. 地理	207
2. 歴史と文化	208

3. 日本アルプス	208
4. 昔話——望月の駒	209
〈発展〉 長野県のまわり	211
五、山梨県	211
1. 地理	211
2. 歴史と文化	212
〈発展〉 中央高地の産業	212
六、新潟県	215
1. 地理	215
2. 歴史と文化	216
〈発展〉 雪国の伝統産業	216
七、石川県	217
1. 地理	217
2. 歴史と文化	219
〈発展〉 雪国の暮らし	219
八、富山県	220
1. 地理	220
2. 歴史と文化	222
〈発展〉 北陸地方の農業	223
九、福井県	224
1. 地理	224
2. 歴史と文化	225
〈発展〉 中部地方のまとめ	225

第五章、関東地方の各都県

一、神奈川県	228
1. 地理	228
2. 歴史と文化	229
〈発展〉 関東地方	230

二、東京都	234
1. 地理	234
2. 歴史と文化	235
3. 日本の中心——東京	236
〈発展①〉 東京の四季	238
〈発展②〉 東京の外国人	239
〈発展③〉 京浜工業地帯	240
三、茨城県	242
1. 地理	242
2. 歴史と文化	243
〈発展〉 霞ヶ浦	243
四、栃木県	244
1. 地理	244
2. 歴史と文化	245
3. 足尾鉾毒事件	246
五、群馬県	246
1. 地理	246
2. 歴史と文化	247
〈発展〉 雷雲はなぜ生まれるのか	248
六、埼玉県	249
1. 地理	249
2. 歴史と文化	249
〈発展①〉 関東地方の農業	250
〈発展②〉 ある農家の野菜作り	252
七、千葉県	252
1. 地理	252
2. 歴史と文化	253
〈発展①〉 京葉工業地域	254
〈発展②〉 関東地方のまとめ	254

第六章、東北地方の各県

一、山形県	257
1. 地理	257
2. 歴史と文化	257
3. 米どころ——庄内平野	258
〈発展〉 東北地方	259
二、青森県	262
1. 地理	262
2. 歴史と文化	262
3. むつ小川原の開発	263
〈発展①〉 東北地方の果物	263
〈発展②〉 白神山地	265
〈発展③〉 東北地方の自然災害	265
三、岩手県	266
1. 地理	266
2. 歴史と文化	267
〈発展〉 東北新幹線と東北自動車道	268
四、宮城県	268
1. 地理	268
2. 歴史と文化	270
〈発展〉 東北——日本の穀倉地帯	270
五、秋田県	271
1. 地理	271
2. 歴史と文化	272
〈発展①〉 田沢湖と十和田湖	272
〈発展②〉 秋田県になぜ美人が多いのか	273
六、福島県	274
1. 地理	274

2. 歴史と文化	274
〈発展①〉 東北地方の電力	275
〈発展②〉 東北地方の水産業	275
〈発展③〉 東北地方の林業	276
〈発展④〉 東北地方のまとめ	277
第七章、北海道地方	
1. 北海道地方の位置と歴史	279
2. 北海道地方の区分	280
3. 北海道地方の地形	280
4. 北海道地方の気候	281
5. 北海道地方の産業と都市	281
〈発展①〉 北海道はなぜ県がつかないの	285
〈発展②〉 北海道の自然現象	286
〈発展③〉 北海道の湿原	287
〈発展④〉 北海道地方のまとめ	288
テスト	289
参考資料	296